



これからも地域とともに。

JA長野厚生連

北信総合病院

2026.1.1

Vol.99

# 北信総合病院だより

## スキー・スノーボード外傷研究講座・センター合同記者会見

- 新年のご挨拶  
(2-3ページ)
- 病院祭 第62回も大盛況!  
(4-7ページ)
- スキー・スノーボード外傷  
研究講座・センター設立  
記者会見 (8ページ)



北信総合病院  
脳神経外科  
塚田

北信総合病院  
整形外科部長  
高梨 誠

北信総合病院  
統括院長  
荒井 裕国

信州大学医学部  
整形外科教授  
高橋 淳



病院  
創立80周年  
これからも地域とともに

私たちは地域住民のみなさんとともに信頼され  
満足できる保健・医療・福祉の実現に努めます。



創立80周年  
特設サイト





# 今年もどうぞよろしく お願いします

JA長野厚生連 北信総合病院  
統括院長 荒井 裕国



新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、多大なるご支援とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

2025年、当院は創立80周年という大きな節目を迎えました。「これからも、地域とともに」をテーマに掲げ、さまざまな記念事業を通じて、これまでの歩みを振り返るとともに、現在の私たちの姿勢を見つめ直す一年となりました。

記念事業の一環として、7月には北信クリニックを開院し、小児科・皮膚科の初診外来を本院から切り離すことで、初診時の負担軽減と、より受診しやすい環境づくりを進めました。また、信州大学との協働による「スキー・スノーボード外傷センター」を年末に開設いたしました。ウィンタースポーツの安全性向上に向けた官民連携の疫学研究に加え、診療体制のさらなる向上にもつながるものと期待しております。

さらに、糖尿病や子宮頸がん予防の啓発カラーに合わせたブルーライトによる病院ライトアップも、ささやかながら記念事業として実施いたしました。冬季限定ではありますが、今後も継続し、来院される皆さまのお気持ちが少しでも和らぐことを願っております。

さて、本年の干支は丙午（ひのえうま）。新たな挑戦に光が差し、前向きな歩みを後押しする年とされています。当院にとりましても、次の100周年に向けて新たな一歩を踏み出す重要な一年となります。

近年、当院では放射線治療装置（リニアック）、血管造影装置（アンギオ）、核磁気共鳴画像診断装置（MRI）など、主要な大型医療機器を相次いで最新機種へ更新し、治療・診断機能の強化を図ってまいりました。

今年は「医療DX元年」と位置付け、ICTやAIを積極的に院内システムへ導入することで、医療現場の事務的負担を軽減し、医療スタッフがより患者さんに寄り添い、診療に専念できる環境整備を本格的に進めてまいります。

また、懸案でありました「紹介受診重点医療機関」の認定取得にも取り組んでおります。国は、初診患者さんを診療所のかかりつけ医が診療し、地域の中核病院は紹介患者さんと入院治療に重点を置く体制整備を推進していますが、県内の400床以上の急性期病院で未認定なのは当院のみとなっています。近年、中高医師会さまとの連携が大きく進展し、認定に必要な要件整備もようやく見通しが立ってまいりました。

今後も、地域の皆さまに信頼され、選ばれ、そして愛される病院として成長すべく尽力してまいります。引き続き、変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

結びに、本年が皆さまにとりまして幸多き一年となりますことを、心よりお祈り申し上げます。

（註）色紙のハートの絵柄は、漢字の「人」文字の集まりで描かれています。様々な職種の「人」が集まって病院という大きな組織となり、「心＝ハート」のこもった医療を提供する……そういう想いを込めて書きました。



病院祭



JA長野厚生連 北信総合病院  
院長 山崎 正志（やまざき まさし）

## 次の100周年へ向けて

謹んで新年のお祝いを申し上げます。

昨年を振り返りますと、医療界は物価高騰や人件費の上昇など、強い逆風にさらされた厳しい一年でありました。他産業と同様、経費増が容易に価格へ転嫁できず、医療機関も厳しい経営環境にあります。特に医療は、国が定める診療報酬という枠組みの中で一律の公定価格が適用されるため、その限界が顕著となり、努力のみでは補いきれない状況が続いております。

とはいえ、新年早々暗い話題ばかりではありません。令和8年度は診療報酬改定の年に当たり、国も現行制度の課題は正に前向きな姿勢を示しており、私どもも改善への期待を寄せているところです。

また、昨年当院は創立80周年という大きな節目を迎えました。皆さまに支えられ今日を迎えられたことに、改めて深く感謝申し上げます。今年は、次の100周年に向けた第一歩となる重要な一年です。干支は巳から午へと引き継がれ、蛇行しながら進む巳年から、馬のように力強く前進する姿が象徴される一年となることを願っております。

北信総合病院は、この地域の医療を守り支える中核として、これからも「地域とともに」歩みながら、さらなる発展を目指してまいります。本年も変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



北信総合病院 老人保健施設「もえぎ」  
施設長 下山 丈人（しもやま たけと）

## 本年、当施設は開設30周年を迎えます

明けましておめでとうございます。2026年（令和8年）が走り出しました。昨年も『老人保健施設もえぎ』を多くのご利用者さまにご利用いただき、ご家族さまや地域並びにボランティアの皆さまにはお支えいただき、大変感謝しております。

昨年は北信総合病院創立80周年の年で、記念セレモニーや記念病院祭などで大いに盛り上がりしました。今年は当施設開設30周年の年です。病院の80年と比べるとまだまだ歴史は浅いですが、何か節目になるようなイベントを行っていきたくと考えております。当施設開設20周年の年はもえぎ祭りをパワーアップしたり、講演会を行ったりしました。今回は20周年ほどではありませんが、何らかのイベントを行う方向で企画しております。大いにというほどのことはできませんが、少しでも期待していただければと考えております。

今年も皆さまからご意見をいただき、職員一同が一層の研鑽を積み重ね、ご利用者さま、ご家族さま並びに地域の皆さまにとって、より良い施設となるように努力してまいりたいと考えております。今年もどうか『老人保健施設もえぎ』をよろしく願いたします。今年が皆さまにとってより良い年でありますように。



北信総合病院附属 北信州診療所  
所長 曽根 進（そね すずむ）＋スタッフ一同

## 20年の感謝、笑顔で地域とともに

新年のご挨拶を申し上げます。

当診療所は2005年4月に開所し、気づけば20年の年月を重ねてまいりました。この間、大きな事件や事故もなく、地域の皆さまに支えられ診療を継続できましたことは、何よりの喜びであり、深く感謝申し上げます。当診療所の存在が、少しでも皆さまの健康維持に、お役に立てていれば幸いです。

今後も「気軽に相談できる地域の診療所」として、地域の皆さまの健康増進と、末永く元気に暮らせる社会づくりのお手伝いを基本理念とし、来院される皆さまのニーズに寄り添いながら、笑顔を大切に職員一同努力してまいります。

結びに、本年が皆さまにとりまして、健やかで明るい一年となりますよう心より祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。



## 長野県知事表彰（保健衛生）を受賞！

北信州診療所の曽根 進所長が、多年にわたり、へき地医療に尽力し地域医療の向上に貢献した功績により令和7年度長野県知事表彰を受賞しました。







第62回

# 病院祭

## 大勢の皆さまのご来場に心より感謝

このたびは、多くの皆さまに「第62回 病院祭」へご来場いただき、心より御礼申し上げます。

本病院祭は、地域の皆さまに病院を開放し、医療機器の公開や健康教育をはじめとしたさまざまな催しを通じて、日頃のご支援への感謝をお伝えするとともに、保健・医療・福祉に関する啓発の場とすることを目的に開催いたしました。

当日は天候にも恵まれ、職員336名の参加のもと、のべ2,978名の皆さまにお越しいただきました。ドクターヘリの見学も予定どおり行うことができ、多くの方に喜んでいただけたことを嬉しく思っております。

また、創立80周年の特別イベントでは、専門医がステージに勢揃いする姿に大きな反響をいただき、盛況のうちに終えることができました。ご来場いただきました皆さまのお力添えのおかげです。

さらに、「倍増戦士ロゼ」のコーナーは想像以上の人気を集め、多くの子どもたちから「楽しかった」「また見たい」との声が寄せられました。午前・午後の2回公演としたことも好評で、今後も継続のご要望を多数いただいております。次回は、ロゼが出演する会場のスケジュールや巡回ルートを事前にパンフレットへ掲載するなど、より楽しんでいただける工夫を検討してまいります。

今回の病院祭が、地域の皆さまの安心や健康への意識を高める機会となり、また私たち病院職員にとりましても、地域とともに歩む姿勢を改めて心に刻む大切な1日となりました。大勢の皆さまにご来場いただきありがとうございました。

病院祭実行委員会事務局  
健康管理課 課長  
外谷 真之



安心見守り隊倍増戦士ロゼが病院祭を盛り上げてくれました！  
(右が外谷課長)



## TOPICS 1

### もちつき

#### 伝統の力で地域とつながる喜び

餅つきは毎年、多くの地域の皆さまに楽しんでいただいている人気の企画です。統括院長をはじめ病院の代表者が一緒に餅をつく姿をご覧いただくことで、病院全体が地域とともに歩む気持ちを感じていただけたのではないかと思います。伝統行事ならではの温かい雰囲気に包まれ、皆さまの笑顔が印象的でした。

80周年の節目となる今年は、例年より多い250個のお餅を用意し、整理券も完売する盛況ぶりでした。多くの皆さまに喜んでいただけたことに、心より感謝申し上げます。

労働組合専従職員  
宮澤 卓



#### 80周年を彩る笑顔あふれるひととき

統括看護部長 下田 智恵美

80周年という記念すべき病院祭で、餅つきのメインイベントに参加できたことを大変光栄に思います。ゲストのロゼとともに臨んだ餅つきはとても賑やかで、晴天のもと会場中が笑顔に包まれ、大盛況だったとの声も多く寄せられました。

毎年、地域の皆さまが楽しみにしてくださっている餅つきですが、実際に職員みんなで行ったお餅を嬉しそうに召し上がる姿を拝見し、私も胸が温かくなりました。運よく私自身も味わうことができ、皆さまの温かい気持ちを共有できたことに心より感謝しております。

#### 伝統行事で感じた温かさと喜び

統括事務長 田中 淳恵

病院祭の恒例行事である餅つきに参加し、久しぶりに杵を持ちながら多くの方の注目を受け、緊張しつつも貴重で楽しい時間を過ごせました。「このお餅は格別」といった声も多く、職員みんなで行ったお餅を手に笑顔を見せる皆さまの姿に心が温まりました。下準備に携わった皆さまへの感謝を胸に、来年以降も大切に受け継ぐべき行事だと改めて感じました。



## TOPICS 2

### 予防接種

#### 病院祭インフルエンザ予防接種

病院祭では事前予約制でインフルエンザ予防接種を実施し、当日は予約外の方にも対応でき、多くの方に喜んでいただけました。院内放送による案内も効果的で、感謝の声を頂戴しました。次回は、より多くの皆さまへ早めに周知し、円滑な運営につなげてまいります。

医事課長 矢島 好弘



ロゼのコラボカードを長野都市ガス、岳南広域消防本部、当院で制作し、病院祭で配布し、大好評でした！



## TOPICS 3

### 開会セレモニー

#### テープカット

病院祭の幕開けを告げる開会セレモニーでは、関係者によるテープカットが行われました。秋晴れのもと、来場者や関係者が見守る中、華やかなファンファーレとともに病院祭がスタートし、地域とともに歩んできた80年の歩みと、これからの未来への期待を感じさせるひとときとなりました。



## TOPICS 6

### 観覧・紹介コーナー

#### 健康と医療を身近に学べる展示がズラリ!

病院祭では、脳梗塞の早期対応を学ぶ「Time is brain」をはじめ、乳がんや腎臓病、心不全、在宅酸素療法、緩和ケア、小児科の食物アレルギーなど、幅広いテーマの観覧・紹介コーナーが並びました。地域医療や健康長寿の取り組み、PET / CTがん検診、痛みを抑えた術後医療の紹介に加え、病院創立80周年のあゆみを振り返る特別展示も行われ、来場者が自分や家族の健康について考える貴重な機会となりました。



## TOPICS 7

### ドクターヘリ見学

#### 子どもも大人も夢中に——ドクターヘリ見学会

病院祭の人気イベントであるドクターヘリ見学会は、秋のさわやかな青空と白い雲に恵まれました。普段は近くで見ることのできない機体をゆっくり見学できる、まさに運の良い一日となりました。ヘリの周囲では、子どもから大人まで目が輝かせ、機体の構造や装備を熱心に観察する姿が印象的でした。貴重な体験を通じて、救急医療への理解を深めていただく機会となりました。



## TOPICS 4

### 即売コーナー・お祭り広場

#### にぎわいと笑顔、広がる

病院祭では、福祉の展示会・販売コーナーや労働組合によるお祭り広場が設けられ、会場は終日にぎわいを見せました。マルシェ・キッチンカーには、JA中野市やJAながのをはじめ、地元食材を生かしたグルメや加工品、パンやスイーツ、駄菓子など多彩な店舗が出店。シャインマスカットやりんごなど旬の農産物も人気を集めました。

お祭り広場では、子どもから大人まで集まり、わくわくした笑顔あふれる交流の場となりました。



#### Thanks! 笑顔と「おいしい!」を励みに!

お祭り広場では、ポップコーンや綿菓子、ドリンクサービス、射的、ボーリングを担当しました。どのコーナーも多くの皆さまにお越しいただき、笑顔あふれる楽しい時間となりました。とくにポップコーンと綿菓子は行列が絶えず、「おいしかった」とのお声をいただき、私たちも大きな励みになりました。

次回に向けて、一部混雑が見られた時間帯の動線や受け取り方法を改善し、よりスムーズで楽しい企画、運営を目指してまいります。温かいご参加に心より感謝申し上げます。

労働組合専従職員 宮澤 卓

## TOPICS 5

### 検査測定・体験コーナー

#### 見て・測って・体験して学ぶ

病院祭では、認知症の最新治療紹介や、「やさしい介護体験」、「模擬手術室」、「リハビリ体験」など、医療を身近に感じられる体験型コーナーが多数展開されました。その場で結果が分かる「血糖・尿検査」や「AGES測定」、「体脂肪・動脈硬化測定」などの検査測定も好評でした。

他にも「白衣試着」、「こども向け調剤体験」など世代を問わず楽しめる企画に加え、「インフルエンザ予防接種」も実施され、健康づくりと医療理解を深める一日となりました。



#### Thanks!

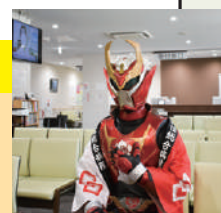
#### ロゼも参加した検査コーナー

病院祭の一環として尿検査や血糖検査を例年どおり実施し、無料で受けられる点に多くの喜びの声をいただきました。安心見守り隊の一員として倍増戦士ロゼも検査を受け、会場は和やかな雰囲気になりました。糖尿病指導・栄養指導ブースと連携した説明も好評で、尿検査122件、血糖検査313件と多くの皆さまにご利用いただき感謝しております。

臨床検査科 技師長 深海和人



検査の順番を待つロゼ



## TOPICS 9

### 公開講座

#### 専門医が一堂に会す貴重な機会

病院祭の目玉企画として開催された公開講座「普段聞けない病気のあれこれ専門医に聞いてみよう!」では、各科の専門医が一堂に会し、来場者の関心が高いテーマについてわかりやすく解説しました。山本力健康管理部長は「人間ドックは身体の手検」として予防医療の重要性を紹介。城下晃形成外科部長は「剪定ばさみによる手の外傷」について注意喚起を行い、山崎正志院長は紹介受診重点医療機関の役割を説明しました。専門医の話を直接聞ける貴重な機会に、多くの来場者が熱心に耳を傾けていました。



## TOPICS 10

### 病院祭のヒーロー

#### 子どもたちに大人気!倍増戦士ロゼ ヒーローショー

病院祭で子どもたちから大きな歓声を集めたのが、「安心見守り隊・倍増戦士ロゼ」によるヒーローショーです。午前9時40分から午後2時からの2回公演が行われ、会場のさくらホールはいつでもほぼ満員となりました。バラを愛し、中野市・山ノ内町のすべてを愛する正義のヒーロー「倍増戦士ロゼ」が、悪の組織ハンゲーンに立ち向かい、地域の平和と人々の笑顔を守る姿に、子どもたちは夢中。会場は終始、笑顔と拍手に包まれていました。





## 地域を守る新たな取り組み

New!

### 「スキー・スノーボード外傷研究講座」 「スキー・スノーボード外傷センター」

冬季スポーツの代表格であるスキー・スノーボードを安心・安全に楽しむために、  
スキー・スノーボード外傷研究講座・センターを設立し、  
その趣旨や目的について説明する記者会見を、2025年11月27日に開催しました。



#### 登壇者・発表内容

- ・荒井 裕国  
(JA長野厚生連 北信総合病院 統括院長)  
「本会の趣旨及び概要説明」
- ・高橋 淳  
(信州大学医学部 整形外科〈運動機能学教室〉教授)  
「寄附講座設立の経緯」
- ・下平 浩揮  
(信州大学医学部 整形外科〈運動機能学教室〉准教授  
／スキー・スノーボード外傷研究講座)  
「臨床研究全般について」
- ・高梨 誠司  
(北信総合病院 整形外科部長)  
「整形外科の診療体制について」
- ・塚田 晃裕  
(北信総合病院 脳神経外科部長)  
「脳神経外科の診療体制について」
- ・若林 陽一  
(一般社団法人志賀高原索道協会 代表理事)  
「北信総合病院との協力体制、安全なスキー場に寄与  
する取り組みについて」



#### 研究講座と外傷センターの設立を記念し、合同記者会見を開催

冬になると、多くの人でにぎわうスキー場。スキーやスノーボードは、子どもから大人まで楽しめる冬のスポーツですが、転倒や衝突によるけがのリスクも少なくありません。

こうした外傷に、より専門的かつ継続的に向き合うため、信州大学医学部では「スキー・スノーボード外傷研究講座」を新たに設立し、あわせて北信総合病院では「スキー・スノーボード外傷センター」を開設しました。

#### 研究と診療を結ぶ新しい連携

北信総合病院は、志賀高原や野沢温泉などのスキー場に近い地域の中核病院として、これまでも多くのスキー・スノーボード外傷の患者さんを受け入れてきました。年間400件以上にのぼる症例は、全国的に見ても非常に多く、長年にわたり積み重ねてきた診療経験があります。

この豊富な臨床経験を、研究や人材育成に生かしていこうという思いから、大学と病院が力を合わせる取り組みが始まりました。



#### 安心して冬のスポーツを楽しむために

研究講座では、外傷(けが)が起こる原因や重症化しやすい要因を医学的に分析し、予防につながる研究を進めています。一方、外傷センターでは、整形外科や脳神経外科などが連携し、迅速で適切な診療体制を整えています。

研究と診療が連動することで、より安全で質の高い医療の提供を目指します。

#### 地域とともに、未来へ

今後は、スキー場関係者や消防、自治体などとも連携し、ゲレンデでの初期対応から病院での治療までを見据えた体制づくりを進めていきます。

この取り組みを通じて、地域の皆さんや訪れる多くの方が、安心してウィンタースポーツを楽しめる環境づくりに貢献していきたいと考えています。



#### スキー・スノーボード外傷 受け入れ患者数の推移

(JA長野厚生連 北信総合病院 2025年調べ)



#### 外来担当医表こちらです！

病院ホームページ、  
外来担当医表をご確認下さい。



#### Instagramこちらです！

病院公式Instagramを  
ぜひフォローして下さい。

